

奈良県生駒市より
島根大学 松本先生講義 受講の皆さんへ
(阪神淡路大震災、能登半島地震からの防災ヒント)

2025.12.09 version 1.1
奈良県 生駒市 (防災士) 坂口 直明

★★お願い事項 などなどです★

- ◎限られた時間なので、今日からでも防災、減災に役立つことを中心にお話します。自ら経験した「阪神淡路大震災」叔母さん宅の支援に行った「能登半島地震」での現場体験も交えて。
- ◎「これ知っていますか?」「ここに行つたことがありますか?」など、時々の反応見るため、挙手頂くことがあります。実際の学校のように、手を挙げた方に回答を求めるとかは原則しませんのでご協力を。
- ◎震災被害の「写真」「動画」を、説明の中で一部引用しています。表示する前に一言お伝えしますので、一瞬目をそむけて頂く等配慮下さい。退席もOKです。

◆自己紹介◆ 坂口 直明という人

- ・1959年（昭和34年）大阪府守口市生まれ。寝屋川市育ち。
- ・勤務先

- 1)富士通SSL(横浜、横須賀)………… 1982年～1988年
- 2)松下電器産業(のちのパナソニック)… 1988年～2013年
- 3)日本アイビーエムサービス…………… 2013年～2015年
以上3社「情報システムエンジニア」
- 4)エムケイ(京都)…………… 2016年(11ヶ月間)
- 5)生駒交通…………… 2016年～
以上2社「タクシー運転手」

- ・家族 親族

嫁、30代と20代の娘、母は92歳（父は12年前に他界）
関東に弟一家がいます。

- ・趣味や好きな事

クルマ関係は何でも（運転する、研究する、触る、洗う、仲間を増やす…など）
音楽は、演歌からスーパーユーロビートまで何でもききます。そして旅行好き。



松江、神戸、能登半島（石川県）そして生駒市（奈良県）

松江 => 神戸……………約272キロ
=> 生駒(奈良県)…約310キロ

生駒 => 金沢……約291キロ

金沢 => 珠洲(能登半島)・・約137キロ



松本先生とわたし（2024年7月版）

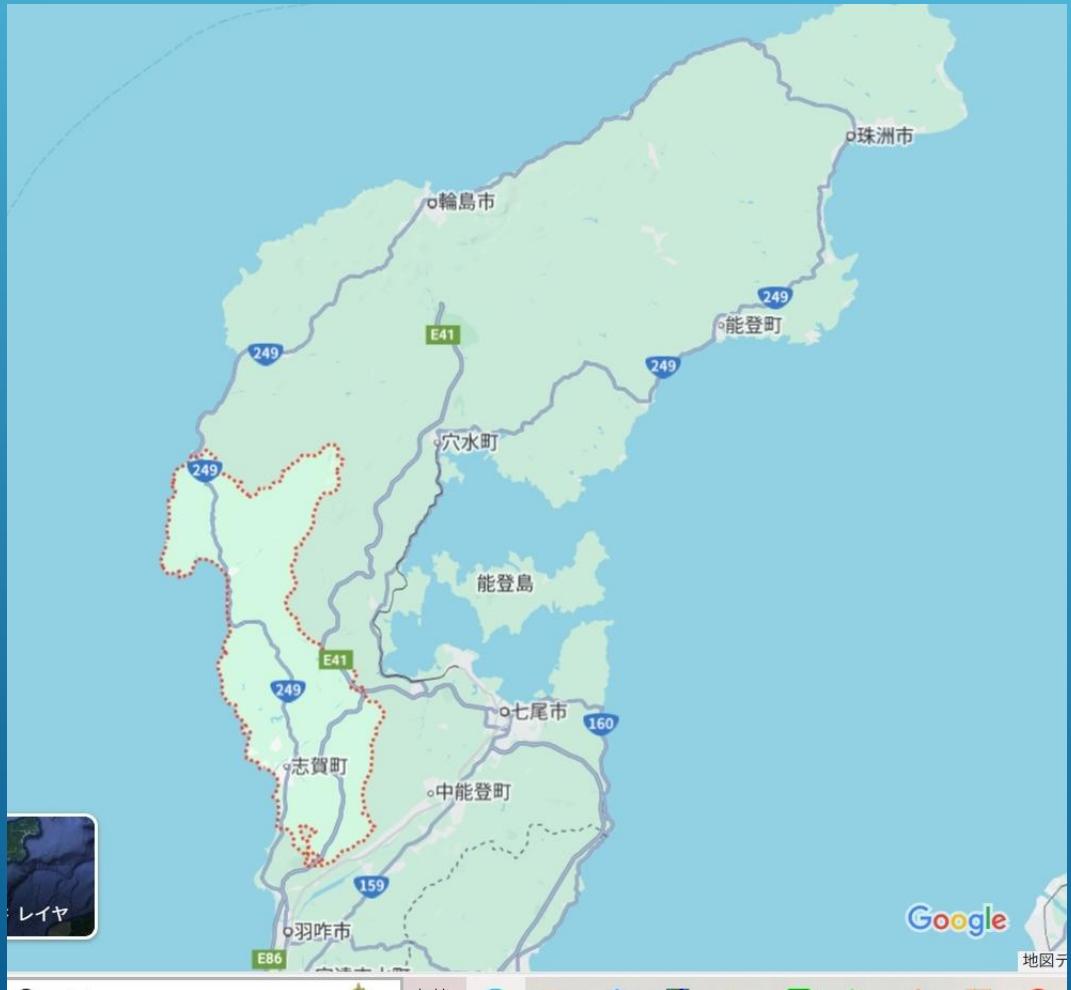


★本日のまとめを先に★

自然災害から大切な命を守る 「5つのヒント」

- ・寝室には「寝具」「非常持ち出し貴重品」以外を置かない
- ・「そこにあるものでやる」「そこにいる人でやる」
「人」も「もの」もないときは自分で集める努力をする
- ・誰に対しても「感謝の気持ち」を持ち続ける
- ・すべてがダメなときにも、絶対に最後まであきらめない
- ・自分の「好き」「得意」を使って、自分そしてすべての人の「命」守る

◆ 2024.01.01 能登半島地震から (令和の震度7を知る)

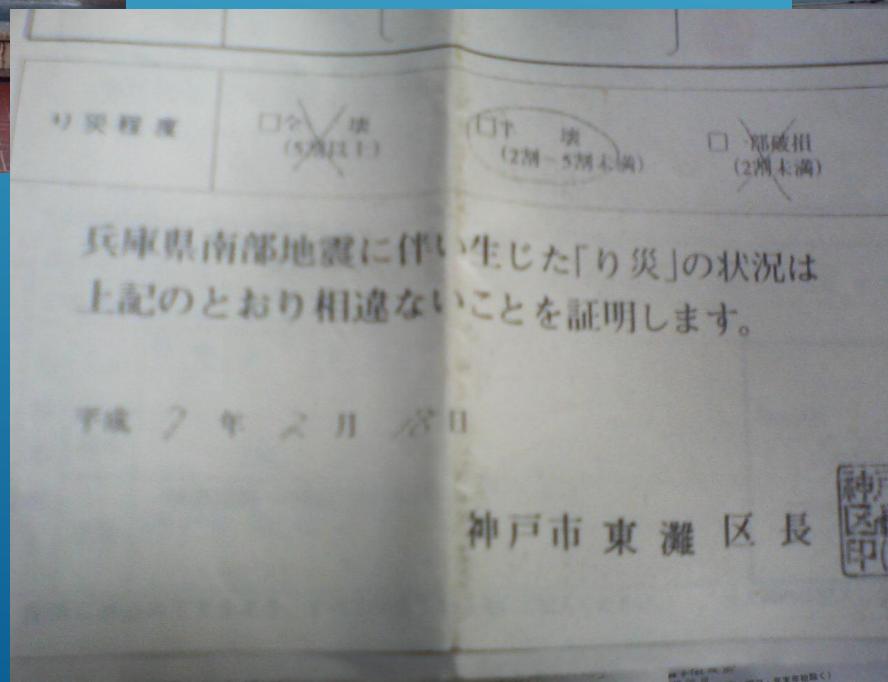


2024. 01. 01 能登半島地震から
(2024年5月31日NHK「今夜も生でさだまさし 徳島放送局編」より)

2024. 01. 01 能登半島地震から



◆ 1995.01.17 阪神淡路大震災から (平成の震度7を知る)



【阪神淡路】1995年1月17日 早朝 震度7 その朝の我が家(神戸市東灘区)



【阪神淡路】195年1月17日 早朝 震度7 その瞬間の我が家

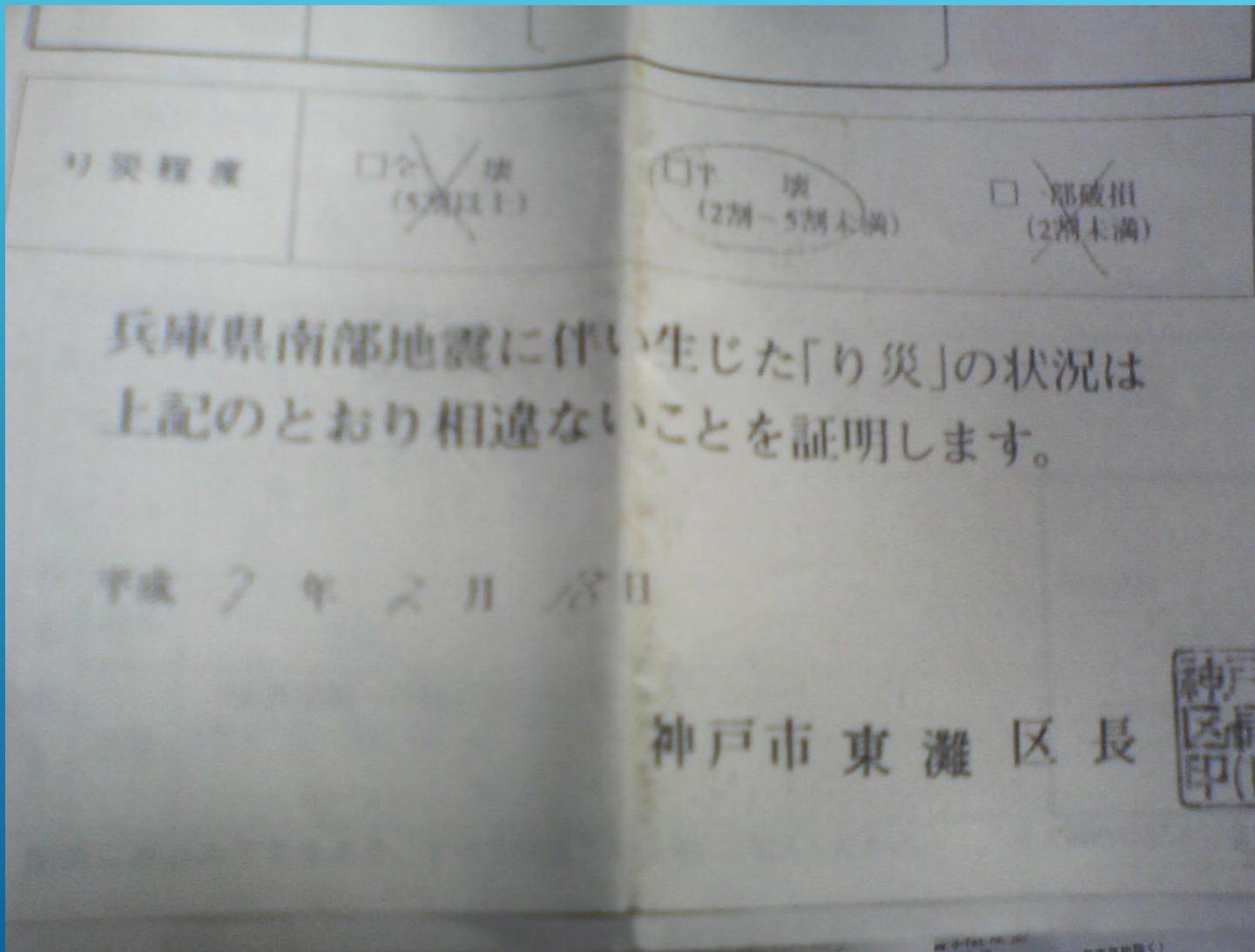
(自宅マンション4階から)



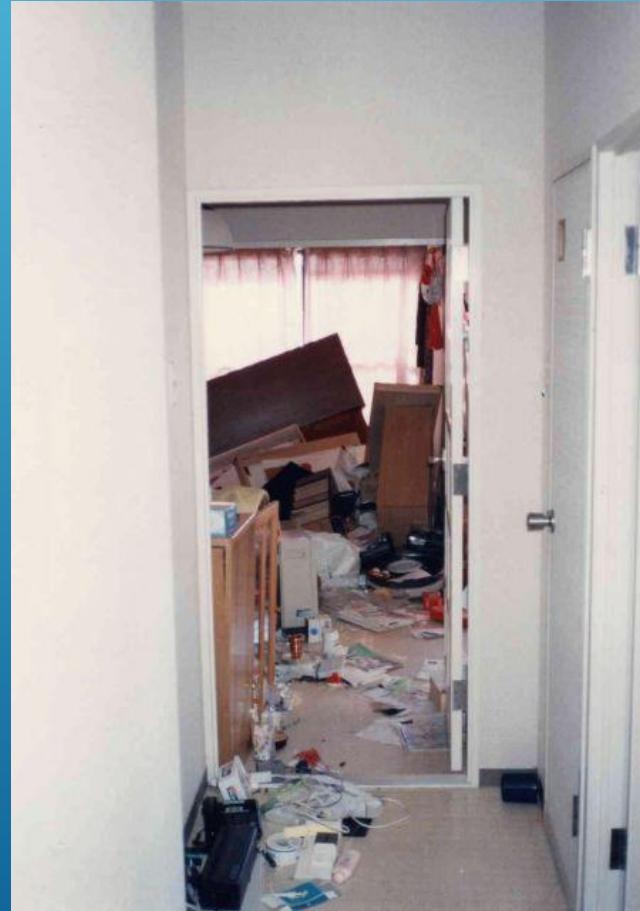
【阪神淡路】1995年1月17日 早朝 震度7 そのときの我が家(2022年1月撮影)



【阪神淡路】1995年1月17日 早朝 震度7 「罹災証明書」



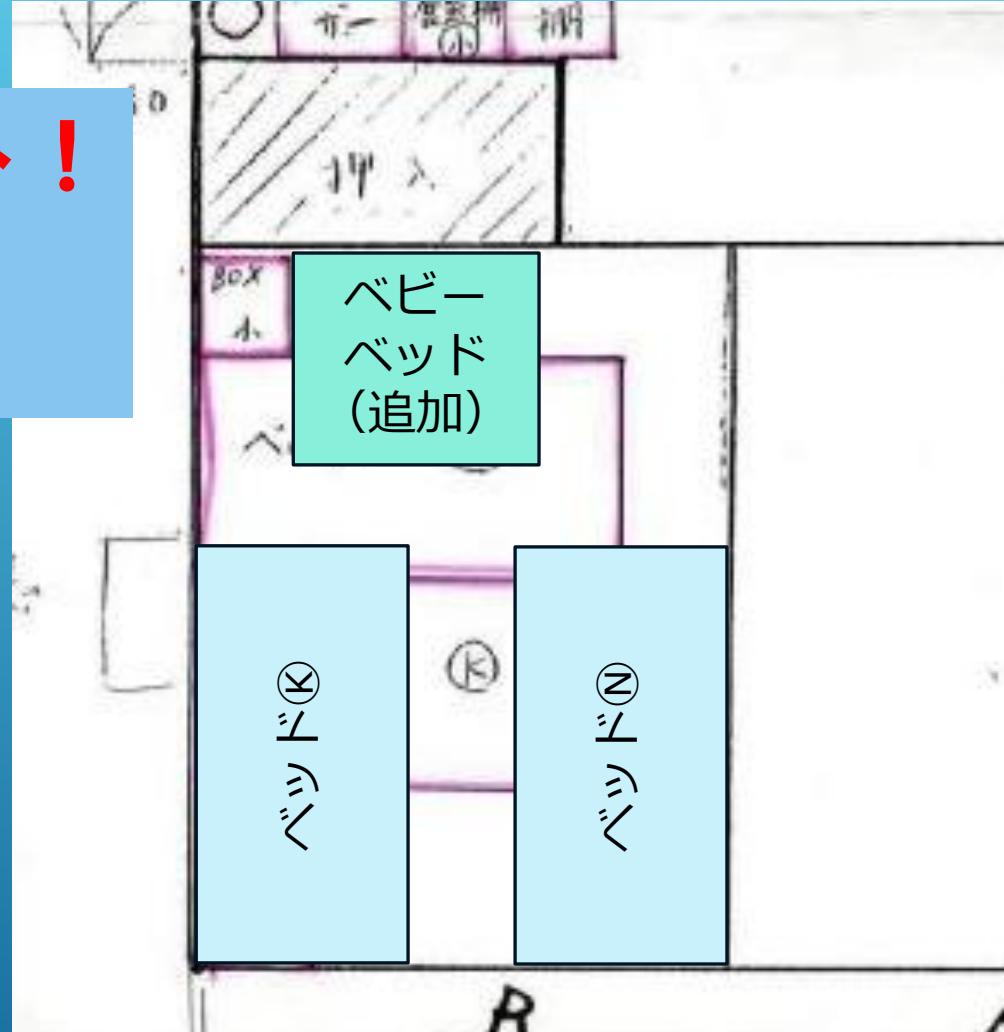
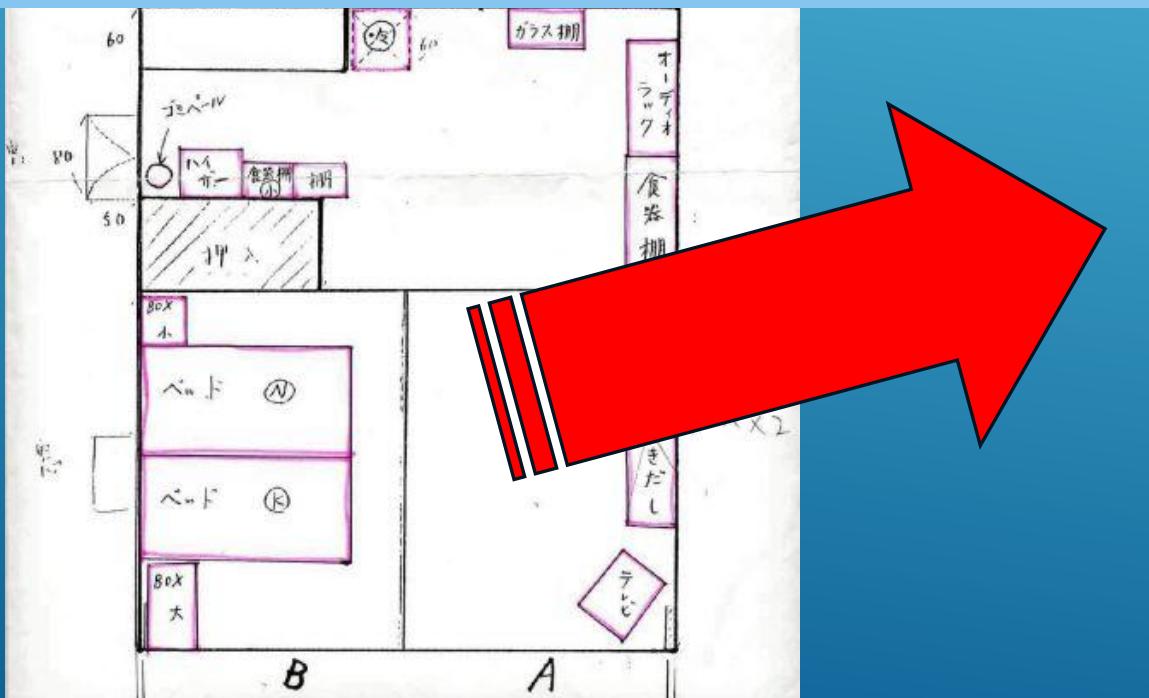
【阪神淡路】1995年1月17日 早朝 震度7 その瞬間の我が家



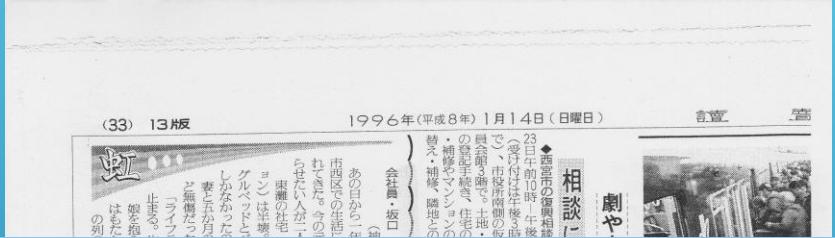
【阪神淡路】1995年1月17日 早朝 震度7 「我が家家のレイアウト図」



親子3人無傷で助かったポイント！
寝室にはベッドしかなかった。
(置けなかった)



【阪神淡路】1996年1月(1年後)の新聞投稿記事から



長女（生後5か月）の
命をつないだ2人

- ・ビル工場保安室の
「お湯」と「仮眠室」
- ・弟勤務先社用車の「自動車電話」



(33) 13版 1996年(平成)

虹 会社員・坂口 直明 (神戸市西区) 36
あの日から一年。この神戸市西区での生活にもやつと慣れてきた。今の元気な姿を知らせたい人が一人いる。

東灘の社宅(賃貸マンション)は半壊。寝室にシングルベッドとベビーベッドしかなかつたのが辛いして妻と五か月の娘はほとんど無傷だった。

「ライフラインは当分止まる。生後五か月の娘を抱えて避難所ではもたない」。長蛇の川のへりで言葉で

読者から

社会福祉について具体的な相談に応じ—オニツクホールで。大阪・寝屋川市の両親にやつと連絡。どこが震源なのかもあいまいなまま、娘を抱えて妻と国道二号線を東に向かって歩き始めた。約三時間で名神高速西宮インター近くまで来た時、娘が泣き出した。朝尼崎市内まで来て日が暮れおむつを替えてミルクを飲ませた。「何もお礼出来ません。すみません」と言って頭を下げたが、親切がうれしくて涙がこぼれそぐになつた。朝尼崎市内まで歩いて約六時間、畠前から歩いて約六時間、がこぼれそぐになつた。

親切なお一人、今どこにから何も食べさせていないことだ。両手の娘が重い。「ビジに気づく。国道沿いのビル工場に駆け込んだ。

「水もガスも出ないが、とにかくこちらへ」。簡易コンロで湯をわかしてくれた守衛室の方。畠の暖かい部屋で、かつた。見つかって」。大阪

水生「して」と題して講演。パネル市内で勤めている弟が、会社の幹部宅へ社有車で向かっていの途中、捜してくれ、偶然出くわした。弟の妻が、私たちが二号線を東へ歩いていることを自動車電話で連絡してくれていたのだ。

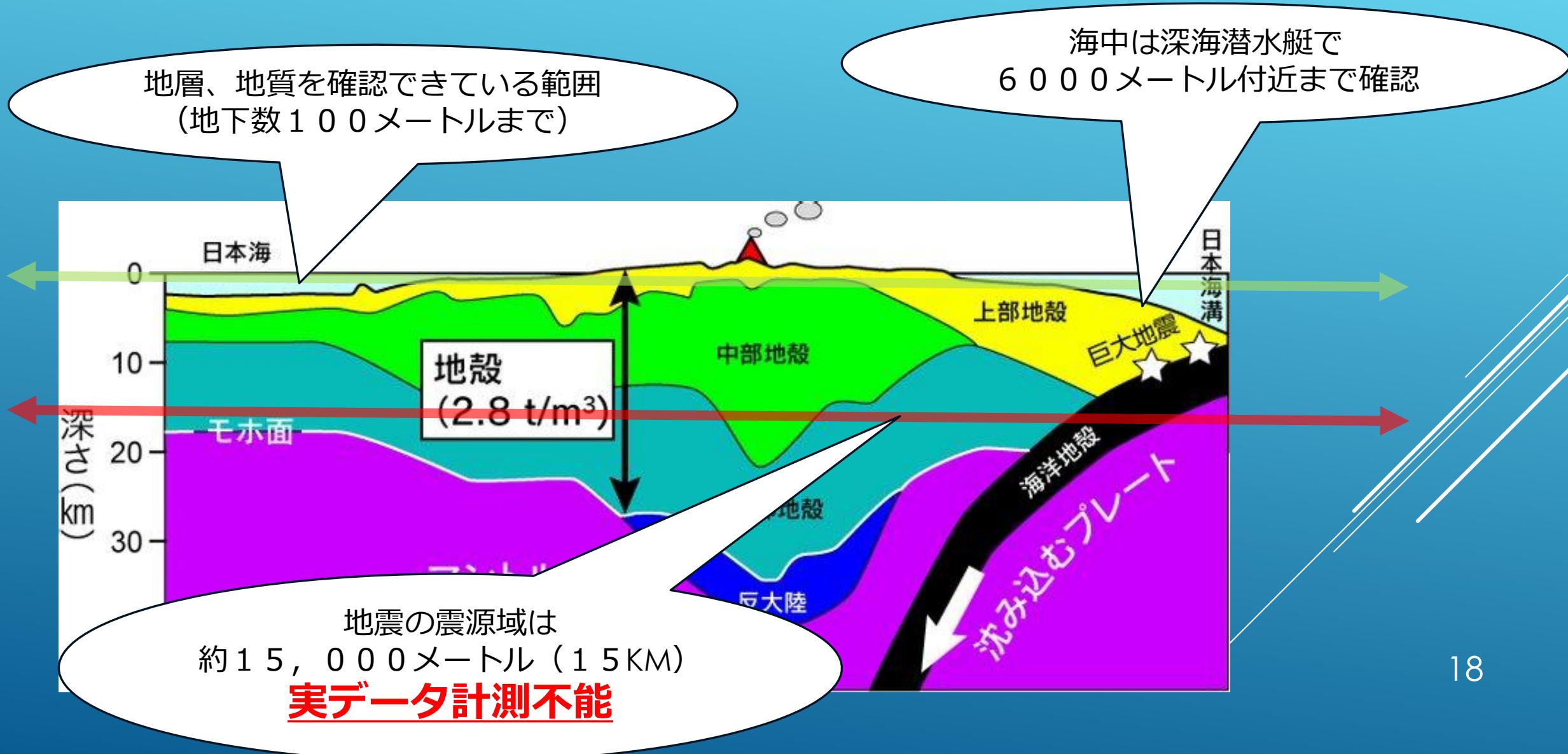
京阪電車の淀屋橋駅まで送つてもらい、一安心したが、運転手さんは、とつて返して芦屋市へ向かうという。ここでも涙がこぼれる思いだった。他にも多くの方から、見舞いや救援物資をいただいた。でも、この守衛さんと運転手さんは、一生わが家の記憶か

音元・甫修、隣地之敷地

◆「社会保障・社会福祉」

いて具体的な相談に応じ
オーディクホールで。淡水生として」と題して講演。パネ

【ご参考】地震予知の精度が低い理由・・実データが取れない



★本日のまとめ★(これだけは覚えて！！！)

自然災害から大切な命を守る 「5つのヒント」

- ・寝室には「寝具」「非常持ち出し貴重品」以外を置かない
- ・「そこにあるものでやる」「そこにいる人でやる」
「人」も「もの」もないときは自分で集める努力をする
- ・誰に対しても「感謝の気持ち」を持ち続ける
- ・すべてがダメなときにも、絶対に最後まであきらめない
- ・自分の「好き」「得意」を使って、自分そしてすべての人の「命」守る

最後まで説明を聞いて頂いて
ありがとうございました。

